

## 令和4年度 第3回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

○日 時 令和5年3月20日（月）13時30分～15時00分

○場 所 弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室

○出席者 樋口会長、阿保委員、安東委員、飯田委員、石田委員、  
石塚委員、太田委員、小田桐委員、加藤委員、佐藤（康）委員、  
佐藤（八）委員、西村委員、三橋委員

○欠席者 佐々木委員

○事務局 岩崎市民生活部長、菊池環境課長、  
田沢町田事業所長、山内環境課長補佐  
長内主幹兼資源循環係長、木村主幹兼環境保全係長、成田廃棄物政策係長、  
安田廃棄物政策係主査、三上廃棄物政策係主事、齊藤廃棄物政策係主事

### ○内 容

1 開 会（進行：山内環境課長補佐）

2 部長挨拶

3 会 議（進行：樋口会長）

（1）【案件1】令和4年度廃棄物施策の実施状況について

⇒【資料1】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・リユース促進掲示板の利用はホームページから申し込むのか。  
→電話で問い合わせただければ、内容を聞いてこちらで登録もできる。
- ・ごみ出しサポート事業の件数が年々増えている。事業の継続性は。  
→現体制での収集に問題はない。ただし、今後の件数増加のほか、収集作業員の  
高年齢化も考慮し、事業継続のため一部委託も視野に検討していく。

（2）【案件2】令和5年度一般廃棄物処理実施計画について

⇒【資料2】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・ごみ減量の目標を個人個人が取り組める事に置き換えて周知して欲しい。  
→3キリ運動など、1人1人ができる基本的な事を改めて「なごみ生活」等で周  
知していく。
- ・生ごみを出さない工夫など、市民の方々からアイデアをたくさん集めればごみ

減量が進むと思う。

→ワークショップなどで市民の方のアイデアが集まってきているので、広く周知できるように整理し、発信していきたい。

・ごみ拾いアプリを活用したキャンペーンの概要は。

→ごみ拾い活動を写真に撮って投稿するもので、アプリ登録者間で「いいね」や「ありがとう」などのコメントのやり取りができるため、ごみ拾いのモチベーションが高まる。アプリを活用したキャンペーンを市内で実施することで、多くの市民の参加と環境意識向上を図っていく。

・小型バイオガス化設備導入可能性調査について、施設の場所など決まっているのか。

→施設の場所や規模感も含めて、調査・検証していく中で検討していく。

### (3) 【案件3】危険・有害ごみの分別について

⇒【資料3】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

・ごみ拾いで拾ったスプレー缶の処分方法は。

→中身を出して、穴はあけないで出していただく。中身が出せないものは個別に相談いただきたい。

・周辺市町村と統一した分別基準にして欲しい。

→できるだけ同じような基準となるよう調整していく。

・周知には、ごみ収集アプリが最も重要になってくると思う。更なる普及啓発をお願いしたい。

→色々工夫しながらアプリの周知に努めていきたい。

## 4 課長挨拶

## 5 閉会（進行：山内環境課長補佐）

### ○資料

- ・【資料1】令和4年度廃棄物施策の実施状況について
- ・【資料2】令和5年度一般廃棄物処理実施計画について
- ・【資料3】危険・有害ごみの分別について
- ・【参考資料】なごみ生活（令和5年3月15日発行）

### ○公開・非公開の区分 「公開」